

●貸し切り船で釣り仲間とエンジョイ!

仕立専門

Enjoy! Charter boat fishing with friends

船宿のススめ。

vol. 11 MITSUZI MARU • Misaki-Moroiso Port ●撮影・文/古河好夫



▲当日のキンメ・クロムツの釣り場は
沖ノ瀬の水深360メートル前後



▲40センチオーバーのクロムツも上
がった



【第11回】 三浦半島三崎諸磯港 光二丸

三浦半島の南西部
三崎諸磯港から出船する
光二丸は、諸磯沖を中心に
様々な釣り物を2隻体制で
楽しませてくれる仕立専門の船宿。
休日も5名から受け付けてくれるので
少人数のグループにもおすすめです。

TARGET

キンメ・クロムツ & ヤリイカ

船長さんに聞きました!
キンメ・クロムツ用の
貸し道具はありますか?

「うちはキンメ、クロムツ用のタ
ックルも1000円でレンタルして
いるので、予約のときに言っても
らえれば用意しておきます。仕掛
けの投入に便利なマグネット板も
無料で貸し出していますし、別料
金になりますが仕掛けやエサなど
もありますから、深場釣りの初心
者の方でも気軽に楽しんでもらえ
ますよ」

今回の釣り仲間

●取材でお邪魔させていただいたのは、神奈川
県鎌倉市の佐藤真哉さんが幹事を務めるグル
ープ。釣り物はキンメ・クロムツ&ヤリイカの
リレー釣りです。



▼キンメ・クロムツ用の
貸し道具の電動リールは
シマノ4000番をセット



出口光一船長



▲当日のキンメのアベレージサイズは30～35センチ級



▲着底直後にアタリがきてクロムツをキャッチ



▲アタリがきて、仕掛けが上がってくるまでのドキドキがたまらない

当日はクロムツが好調



**冬～春は
キンメ&クロムツ、
ヤリイカがおススメ**

三浦半島三崎諸磯港の光二丸は、漁師でもあった先代のノウハウを受け継いだ出口光一船長と三浦進船長が舵を握り、諸磯沖を中心に沖ノ瀬や城ヶ島沖、洲ノ崎沖などの多彩な釣り物を楽しませる。

冬～春に人気を集めるのはキンメダイ、クロムツ(ムツ)、ヤリイカ、マルイカ、アマダイ、オニカサゴ、カワハギなど。キンメやクロムツの釣り場は城ヶ島沖や沖ノ瀬の水深250～400

メートル。キンメ、クロムツともに30～40センチ級を主体に楽しむ、これから春の濁った潮が入ればより一層面白くなるぞうだ。

ヤリイカは城ヶ島沖や沖ノ瀬、洲ノ崎の水深150～200メートルを狙う。今期は日によってムラはあるが、スルメイカ交じりで胴長20～40センチ級が上がっている。

ヤリイカ&ハモノ狙いも人気が高く、ヤリイカを釣りながら釣ったヤリイカを泳がせてハモノを狙う。ブリやワラサ、マダイ、メダイなどが上がり、過去には20キロ級のイシナギが上がったこともあるという。

そろそろマルイカも面白くなる時期。昨年この時期は、すでに亀城根周辺で乗っていたとのことなので今後が楽しみだ。港から15分程度の近場で楽しめるアマダイもリピーターが多

く、25～35センチ級主体にこの冬は50センチ級が何尾も上がったという。1人で2ヶタ釣果に恵まれる日も珍しくなく、2月も狙い目だ。

オニカサゴは城ヶ島沖や沖ノ瀬などの水深100メートル前後を狙い、300～600グラム級主体に1キロ級も顔を見せる。カワハギは周年出船可能で、型狙い、数狙い、あるいは両方と希望によって釣り場を変えてくれるとのこと。

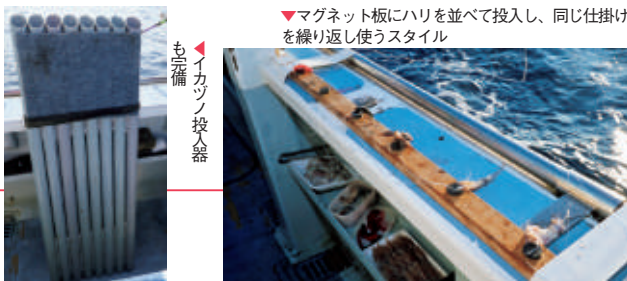
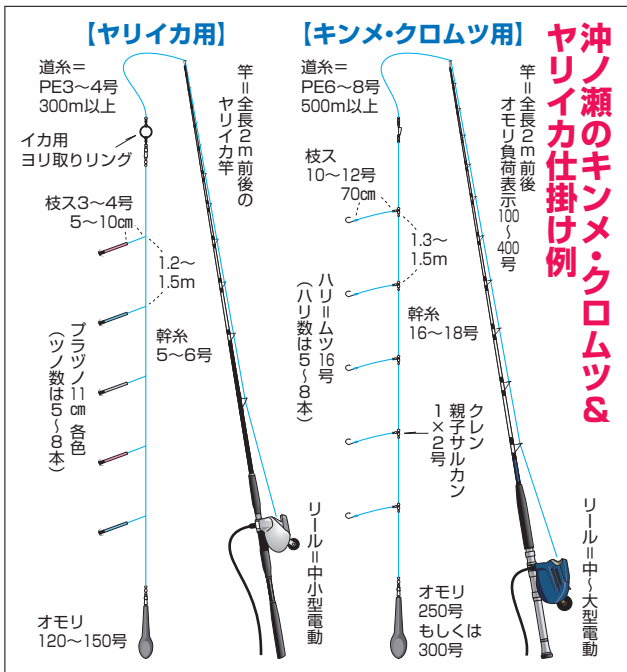
そのほかマダイやアジ五目も



▲キンメ・クロムツ用のエサはサバやイカの切り身。オモリは250もしくは300号を使用

周年楽しみめ、マダイは1～2キロ級が主体。アジ五目ではサバやイサキなどが交じりクローラーの中がにぎやかになるとい。春からはイサキへも出船し、夏はワラサやキハダ、カツオも受け付ける。

同船はリレーも大歓迎で、



▼マグネット板にハリを並べて投入し、同じ仕掛けを繰り返し使うスタイル

▲イカツン投入器も完備